

## 農作業の共同化と高品質牛乳の生産による酪農経営の確立 ～白川牧場～

### 経営体の概要

事業実施前：平成19年  
基幹作物：牧草、乳牛  
経営面積：100ha  
飼養頭数：147頭



事業実施後：平成29年  
基幹作物：牧草、乳牛  
経営面積：113ha  
飼養頭数：170頭

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

大規模酪農経営を目指した長期的な経営計画に基づき、飼養形態の変更、機械利用組合の設立による農作業の共同化、肥培かんがい施設の共同利用化を実現し、牧草作業の効率化、省力化を図ることによって、乳牛の飼養管理に専念し高品質牛乳の生産や飼養管理の合理化を図った酪農経営を実現した。

### 営農改善のポイント

#### ①流通・販売の工夫

飼養形態の変更、農作業の共同化などの省力化によって、搾乳に専念した経営形態に移行し、約20年に亘り、プレミアム牛乳（乳脂肪率等の基準に合格した特に優れた牛乳「特選・北海道4.0牛乳」）の生産を継続している。



ブランド牛乳（わか牛乳業HPより）

#### ②省力化

肥培かんがい施設の整備によって、完熟したスラリーを有機質肥料として利用できるようになり、機械利用組合がスラリートンカーを6台に増強し共同作業することで、遠方のほ場も含め、適期、効率的に散布することが可能となった。



スラリーの散布作業

#### ③栽培技術の確立・向上

発情の兆候を捉える発情発見器の活用と目視による健康状態の観察により、牧場の飼養環境に適した産乳成績の良い乳牛を育成し、搾乳牛の平均年数6.7歳、出産数3.9産の飼養技術を確立し、生産性の高い酪農経営を実現した。



発情発見器のモニター

### 事業概要

事業種：環境保全型かんがい排水事業  
関係市町：北海道厚岸郡浜中町  
受益面積：13,065ha  
事業期間：平成13年度～平成23年度  
事業目的：畑地かんがい、排水改良、  
主要工事：揚水機場2箇所、用水路349.6km、  
排水路47.4km

### 位置図（北海道）



はまなか地区

### <問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部  
農業振興課 調整係  
電話：011-709-2311  
(内線5684)

(平成29年度調査時点)